



四季折々の大自然が訪れる人々を楽しませる

小串

おぐし

小串を流れる溪流は、高梁川を経て、倉敷から瀬戸内海に注いでいる。西は古蘇山、東に三光山や虫原山が連なる県境に接し、かつては、峠越えの往来もあった。今でも時折、オフロードバイクの愛好家達が、この峠道を通って訪れる。山々に囲まれた耕地は溪流沿いに広がり、自然が豊かに残る景観もさることながら、市道沿いの桜や紅葉の植栽が、四季折々に、行き交う人々を楽しませる。

① 姑蘇山  
こそやま

県道から分かれて、市道小串中央線を進み、海津神社のゆるやかなカーブを過ぎると正面に見え、端正な美しい姿を望むことができる。頂上からは眺望が効き、携帯電話やテレビの中継局がある。暮らしに欠かせない大切な拠点でもある。標高954m。





2

## 海津神社

わだつしんじや

明治4年に社号を海津神社と改めた。以前は八大龍王宮と呼ばれていた。旧殿は慶長年間（約400年前）の創立とされ、現在の社殿は正徳年間（約300年前）に新しく造営されている。境内には貴船神社、金屋子神社を相殿として祀ってある。



## 3 鉄穴流し

かんながし

手入れの行き届いた植林地の溪流沿いに、鉄穴流しの跡が残る。水量が途切れることなく静かに流れている。石積みで構成された当時の立派な構造をはっきりと見て取ることができる。





#### 4 正泉寺道

しょうぜんじみち

千鳥の正泉寺に参詣する道につながる道のひとつ。坂部さん宅前には現在も地藏様が並んでいる。



#### 5 大山社

だいせんしゃ

瀬戸奥、坂部さん宅の近くにある。



#### 6 世量神社

よはかりじんしゃ

瀬戸奥の遠部さん宅の西隣り。酒を造り、この出来具合で豊作か凶作を占う。



#### 8 祇園社

ぎおんしゃ

猪野原から千鳥に向かう道のそばにある。



#### 7 玉屋名本山荒神

たまやみょうこうじん

猪野原の藤村さん宅の隣りにある。



10

### 野田屋敷の石垣

のたやしきのしがき

天正年間、紀州熊野から田辺次郎左衛門信時が小串村に移住した。野田家を築き、村の長者となり、代々の庄屋をつとめた。鉄穴流しによる砂鉄の採集、製鉄用木炭作り、製鉄事業等を大規模に行ない大変に繁栄していた。仕上げた鉄の延べ棒は、大金から荒砥、吹屋、高梁を経て、大阪へ出荷していたという。立派な石垣が往時をしのばせる。



11

### 七人塚

しちにんづか

野田家(田辺氏)が紀州熊野から海路で尾道、さらに小串に着いた時、小串の玉屋という、現在の酒井さん宅の近くの豪農に一時萬居した。その頃になむものだという。



### 9 野田名本山荒神

のたみょうもとやまこうじん

野田屋敷の北側の小山の頂上にある。

